

新任教授紹介

ITとデータサイエンス、そして人の温もりを

整形外科学講座 教授 高尾正樹

私は専門分野である股関節外科に、データサイエンスを導入して疾患の病態解明や診断・治療に関する研究を大阪大学で行ってきました。手術数が増加している当院においても、継続して運動疾患に悩む患者さんへ適切な治療を全力で提供します。同時に人工関節センター（2014年開設）を発展的に継承し、医療情報部・放射線部・リハビリテーション部と連携してデータベースを構築し、整形外科の全領域におけるデータサイエンスを実現していきます。地域医療では当院を中心としたIT利用で効率的な地域医療ネットワークを確立し、広い医療圏を限られた人員で効率的にカバーすることを考えています。臨床研究でも県全体の関連病院と様々なテーマでの共同研究の推進や、診療データの集積のためのデータ入力様式の統一とビッグデータ化の促進を行います。整形外科学講座は開講して46年と活力のある段階です。働きやすい環境整備の下で、様々な人材を受け入れ、ともに高めあう講座を作ります。私はこれまでたくさんの仲間に恵まれてきました。これからも患者さんの立場に立ち、愛媛に根ざし、世界にも視線を向ける。そして医療と学術の充実した県として患者さんから選ばれ続ける存在になる。そのために一期一会を大切に仲間を増やし、夢と愛がある整形外科医療をここで挑戦したいと思っています。



PROFILE

たかおまさき◎1998年大阪大学医学部卒業、2006年大阪大学大学院修了。大阪大学大学院医学系研究科で整形外科学や運動器医工学治療学を経て、2022年4月より現職。専門は股関節外科。趣味は小学生の息子とのマインクラフト、テニス、家族旅行、クラシック鑑賞。